

とうかい

Vol.85
令和3年
秋号

病院の理念 最高の誠意 最善の医療



公立学校共済組合 東海中央病院



緩和ケア病棟15床増床

今年2月から行っておりました別館2階の改修工事が終了し、緩和ケア病床として生まれ変わりました。緩和ケア病棟は15床増床し、別館1階と併せて30床となります。



表紙写真募集のお知らせ

皆さんによる各務原市をはじめとした岐阜県内各地の風物の写真を広報誌の表紙としてご紹介しています。次号の募集については、令和3年11月上旬までの予定です。たくさんのご応募をお待ちしております。

東海中央病院のホームページもぜひご覧ください。

<https://www.tokaihp.jp>



INDEX

- 地域でがん患者を支えるために……………2・3/6
～緩和ケア病棟の立場から～
副院長・緩和ケアセンター長 川端 邦裕
- 東海中央病院連絡協議会を開催……………3/6
- 私たちにできるケアを患者さんとご家族に…4/6
副看護部長・緩和ケア病棟師長 澤井 美穂
- 発熱外来! 日々奮闘中!……………5/6
- 新任医師紹介／お知らせ……………5/6
- 公立共済やすらぎの宿……………6/6
プラザ洞津／ホテル グランヴェール岐山／HOTEL ルブラ玉山



地域でがん患者を支えるために ～緩和ケア病棟の立場から～

副院長・緩和ケアセンター長 川端 邦裕

東海中央病院では、岐阜県で第3番目となる緩和ケア病棟が2011年12月に開設され、医療チームによる緩和ケア診療を行っています。今回、2021年7月には別館2階に緩和ケア病棟が、15床増床となりました。がんは、脳卒中や心筋梗塞のように急死する疾患ではなく、多くは一定期間を経て悪化し終末期を迎えて亡くなります。そのため、疼痛などの症状コントロールは「生きていく」上で大切であり、それを目的とする緩和ケアは極めて重要であると考えます。



緩和ケアでは、がんと宣告され手術加療や化学療法を始めた患者さん、化学療法が難しくなった患者さんが、これからの治療の方向性・症状コントロール・生き方を相談しに来院されています。そのとき、「先生ならどんな治療を望まれますか」とか「病気であっても人生を愉しく生きるコツはなんですか」と質問される場面に遭遇してきました。「緩和ケア」は、その方らしい時間を、ご家族と共に過ごせることを目指した医療です。スタッフ一同、病を抱えながら過ごす患者さんとその家族に対し、充実した豊かな人生を「生きること」を支えるべく取り組んでいますが、実際のところ「がんになっていないのだから、わからないでしょう」と言われてしまえば、何の反論もできないのが現状です。



医療の究極の目的は人々を幸せにすることにあります。現実には、診断の時点で進行がんであるため治療としてできることが少ない方もいれば、終末期がんで治療対象でない方もいらっしゃいます。また、たとえ治療によってがんが治っても別のがんが発症したり、他の病気で亡くなったりすることがあります。つまり、最終的には、人間は死を避けられない「無常」の存在であるわけで、限りある人生のQOL (Quality of life: 生活の質) の向上のために、如何に治療とケアを提供されるかが問われることとなります。ゆえに人生を「愉しむ」ためには、QOLの向上が必要と考えるわけでありです。



長生きしたいという願望は、周りの人々と「良い時間を」共に過ごしたい、「苦痛なく、愉しく」過ごしたい、という願望であり、孤独感・苦痛を持っての長生きはその人にとって決して幸せなことではないように思われます。大切なのは家族や友人といった人間関係（の存続）であり、このことは人生に「愉しみ」を感じながら生きることであると思います。今までの医療では「いかに治すか」というがん治療学に比べ、治療中の生活の質「いかに生きるか」というがん生存学について顧みられることが少なかったように思われます。長生きにどんな意味があるのかと問われると、それは単に生物学的な不老不死を目指すのではなく、住み慣れた地域で人間関係を続けていくことであり、その時、家族・友人は生きる力を与えてくれるものであると考えます。緩和医療では、本人・家族・社会の関係を支えていく医療としてとらえ、最期までその人らしく「人生を愉しめる」時間をささえていく医療と考えます。増床となった緩和ケア病棟も、その提供の場となるべく病棟として、スタッフ共々努力していきたいと考えています。



緩和ケアは「がんと診断されたとき」から始まります

当院の緩和ケア内科外来は、がんにもなう痛みや息苦しさなどの身体症状、気持ちの落ち込みや不安などの精神的な症状、経済的なこと、仕事や家族といった社会的な問題などを軽減し、患者さんご家族が有意義に過ごしていただくことを目的とした診療科です。

治療ができなくなってからではなく、治療に伴う倦怠感などのつらさや不安を和らげるためにも、緩和ケア内科外来をご利用ください。



緩和ケア内科は完全予約制です。

かかりつけ医療機関を通してご予約ください。

東海中央病院連絡協議会を開催

令和3年8月18日(水) 当院大会議室にて東海中央病院連絡協議会が開催されました。

市長、市議会議員、副議長、民生常任委員長、副委員長、副市長をはじめ市から関係職員にお集まりいただき、市長が議長を務め東海中央病院の円滑な運営について協議いたしました。

協議会の最後に、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社から各務原市へ寄贈された同社製の飲料が、浅野 健司 各務原市長から松井 春雄 病院長へ手渡されました。

※同社は社会貢献の一環として、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組む医療従事者を支援する活動を行っています。



私たちにできるケアを 患者さんとご家族に

副看護部長・緩和ケア病棟師長 澤井 美穂



4月から別館工事のため入院制限をしておりましたが、7月下旬より通常どおりに患者さんの受け入れを再開させていただきました。入院制限中はご迷惑をおかけして、申し訳ございませんでした。

全国的には、コロナ禍で緩和ケア病棟を閉鎖または一部閉鎖した施設が17%あります。また、殆どの緩和ケア病棟でも、面会制限をしています。全国の遺族調査では面会制限による満足度は、“とても満足”または“満足”と答えたご家族が全体の8割を占め、面会制限がない状態と変わらないとのことでした。今後もケアの質を落とさないようにしていかなければ、と思っています。



幸い当院では、患者さんの受け入れを継続できています。しかし、面会制限を行っており、ボランティアさんの活動も自粛を強いられています。従って、面会制限のあるなかで、限られた時間でご家族へのケアを提供できるように工夫をしてきました。オンラインでの面会を行っている施設もありますが、当院の病棟にはインターネット環境がないため、窓越しで面会をしたこともありました。遺族会も昨年度から開催ができていません。そのため、少しでもご遺族になられた方への癒しにつながればと思い、メモリーカード(お葉書)を送っております。時々、返信をいただくこともあり、私たちの励みになっています。

まだ新型コロナの感染状況が全国的に落ち着かないため、ボランティアさんには病棟に来ていただけない状況が続いています。以前は週に一度ボランティアさんと協力し、コンサートなどのレクリエーションを実施していました。改めてボランティアさんの存在の大きさを痛感しています。今はスタッフが週に一度、各患者さんのお部屋でティータイムを提供しています。先日は夏祭りを開催しました。例年、患者さんだけでなくご家族にも参加いただき、流しそうめんを楽しんでいただいていたのですが、今年度は感染対策を取り患者さん1名ずつ、射的などのゲームやかき氷の提供を行いました。担当のスタッフが、少しでも夏祭りの雰囲気を感じてもらいたいと準備し、参加していただいた患者さんはとても楽しそうにしていました。

増床した別館2階(15床)の患者さんの受け入れ時期は、現時点では未定ですが、少しでもいいケアが提供できるように準備を進めていきたいです。開棟した際には、多くの方にご利用していただけるよう、少しでも患者さんご家族の癒しにつながるよう、私たちにできることを提供していきたいと思ひます。



発熱外来! 日々奮闘中!



当院は感染予防対策を行い、発熱外来の診療をしています。



受付は、事務職員が感染予防をしながら行います。



診察には**タブレット**を使用して問診を行うこともあります。接触を少なくして、感染予防の工夫をしています。



診察室内にはクリーンパーテーション(専用空気清浄機)を設置し、感染対策を行っています。

私たち医療スタッフは、発熱外来に不安を抱えて受診される患者さんを思いやり、新型コロナウイルスと向き合って、感染拡大を防止しています。

職員一同、コロナが収束することを願い、地域医療を守るために一丸となって頑張ります。

外来看護師長 大橋 浩子



医師や看護師は、个人防护具を着用して診察を行います。**姿見**で全身を確認します!

新任医師



紹介



野々垣 郁絵 外科医長(外科)

7月より外科に赴任いたしました野々垣郁絵と申します。皆様のお役にたてるよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

世界糖尿病デー2021 in東海中央 を開催します

糖尿病予防啓発イベント『世界糖尿病デー2021 in東海中央』を開催します。今年は新型コロナウイルスの感染拡大のため、オンラインでご参加いただく講演会を行います。ご家族や大切な方と共に糖尿病について考え、予防に向けた一歩を踏み出すきっかけとして、ぜひご参加ください。

【日 時】 令和3年11月12日 金曜日 14時00分~15時00分

【内 容】 オンライン講演会「インスリン療法を正しく学ぼう(仮)」

※事前申込みが必要です



公立共済やすらぎの宿



みえグルメプラン

販売期間
3月31日
まで

お伊勢参りや三重県の観光に
ご利用ください

2名様より承ります。

● 松阪牛や伊勢海老など地元産にこだわった
食材を使用した特別なご夕食です。

お1人様
1泊2食付

18,000円(税込)

※ 締切日の3日前までにご予約をお願いします

※ 季節や仕入れ状況によりメニューが多少変更になる場合がございます。

公立学校共済組合津宿泊所 どうしん
プラザ洞津
<https://www.dohshin.jp>

〒514-0042 三重県津市新町1丁目6-28

TEL 059-227-3291 (代)

FAX 059-226-3185

無料駐車場あり 近鉄 津新町駅下車 徒歩2分

**来館
配達**

ホテルのおもてなしをお届け
錦秋のお弁当

豪華
彩り匠弁当
¥4,000(税込)

和牛ステーキ弁当
¥3,500(税込)

ピストロ
ベジタブル弁当
¥3,000(税込)

洋中オードブル盛り合わせ
¥5,000(税込)

《和食会席》《中華コース》《洋食コース》

個室でお祝いランチ

少人数でランチをお愉しみいただける個室をご用意いたします。
お誕生日、記念日等、ご家族、お友達、大切な方のお祝いに。

3日前までに
要予約
2名様より

2021.9.1wed ~ 11.30 tue

《特典》「祝乾杯用食前酢」と「食後のドリンク」全目にプレゼント

~Time~ ランチ
11:30 ~ 14:30 お一人様 ¥4,000(税込)

お客様の安心・安全を考慮した感染症予防対策を行っております。

ホテル グランヴェール岐山

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地
FAX.058-263-5517 <https://grandvert.com>

《お弁当、お祝いプランの詳細・ご予約は電話またはQRから》
TEL 058-263-7111 受付時間 AM9時~PM8時

※仕入れ状況により内容が異なる場合がございます。※お受取り後、お早めにお召上がりください。※料金は税込です。
ご注文は2日前の15時までに要予約。お弁当のお届けは¥15,000以上より承ります。詳しくはお問合せください。

生おせち料理のご案内

★早割★ 10月31日(日)までのお申込みで1,000円引(消印有効)

和洋中三段重《彩》
限定500個
24,000円

和二段重《華》
限定200個
18,000円

★特典★

- ・全国送料込(離島は除きます)
- ・年越しそば付
- ・ご来館お引取りのお客様には
ルブラクーポン(1,000円分)プレゼント!!

・申込締切日 12月17日(金) ・ホームページ専用フォームにて承ります。
・パンフレットが必要な方は、郵送いたします。お気軽にお問い合わせください。
・12月31日(金)午前中クール宅急便にてお届けいたします。
・ご来館いただく場合は12月31日(金)の9:00~13:00までにお願いたします。

ホテル ルブラ王山
TEL 052-762-3151 URL <https://www.rubura.org>
〒464-0841 名古屋市千種区覚王山通 8-18

とうかい Vol.85 2021秋号

発行/〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2
公立学校共済組合 **東海中央病院**
TEL (058)382-3101 FAX (058)382-1762
URL <https://www.tokaihp.jp>

発行人/病院長 松井 春雄
発行/年4回

初診・再診受付時間 8:30~11:30 / お休み: 土・日・祝日・年末・年始

お願い 保険証等の提示

月に一度は保険証・医療証等を保険証提示窓口に提示してください。